

平成24年度
第四次 長野市総合計画
後期基本計画 進捗状況(報告)

平成25年 8月28日
長野市

1 第四次長野市総合計画 後期基本計画 アンケート指標(平成24年度満足度結果)・・・ 1P

2 第四次長野市総合計画 後期基本計画 基本施策指標(平成24年度実績)・・・・・・・ 7P

0 行政経営の方針【行政経営分野】 ----- 8P

基本施策番号

- 011 市民とともにつくる市政の実現
- 021 住民自治の推進
- ★ 022 中山間地域の振興
- 031 自立した地方行政の推進
- 032 都市間連携・交流の推進
- 041 効率的な行財政運営の推進
- 051 市民の満足が得られる市役所の実現

1 健やかに暮らし認め合い支えあうまち【保健・福祉野】 ----- 15P

基本施策番号

- ★ 111 子育て・子育て環境の整備
- 121 高齢者福祉サービスの充実
- 122 高齢者の社会参加の促進
- 131 障害者(児)福祉の充実
- 132 地域福祉社会の実現
- 141 保健衛生の充実
- 142 地域医療体制の充実
- 151 人権尊重社会の実現
- 152 男女共同参画社会の実現

2 豊かな自然環境と調和した潤いあるまち【環境分野】 ----- 24P

基本施策番号

- 211 総合的・計画的な環境対策の推進
- 212 良好な自然環境の確保
- ★ 221 省資源・資源循環の促進
- 231 生活環境の保全
- 232 上下水道等の整備
- 233 緑化・親水空間の充実・創造

3 より安全で安心して暮らせるまち【防災・安全分野】 ----- 30P

基本施策番号

- ★ 311 防災対策の推進
- 312 消防・救急・救助体制の充実
- 321 日常生活の安全性の向上

4 心豊かな人と多彩な文化が輝くまち【教育・文化分野】 ----- 33P

基本施策番号

- ★ 411 魅力ある教育の推進
- 412 家庭・学校・地域の連携による教育力の向上
- 421 活力ある地域を創る生涯学習の推進
- ★ 431 多彩な文化の創造と文化遺産の継承
- ★ 441 スポーツを軸としたまちづくりの推進
- 451 国際化の推進

5 いきいきと産業が育ち賑わいと活気あふれるまち【産業・経済分野】 ----- 39P

基本施策番号

- ★ 511 多様な観光交流の推進
- ★ 521 未来に向けた農業の再生・振興
- 522 中山間地域の農業振興
- 523 豊かな森林づくりと林業の振興
- ★ 531 産業の集積と工業の活性化
- 541 力強い商業への転換
- 551 安定した地域雇用の確保

6 多様な都市活動を支える快適なまち【都市整備分野】 ----- 46P

基本施策番号

- ★ 611 多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進
- 612 快適に暮らせるまちづくりの推進
- 613 地域の特性をいかした景観の形成
- ★ 621 交通体系の整備
- 622 道路網の整備
- 623 高度情報化の推進

★…重点施策

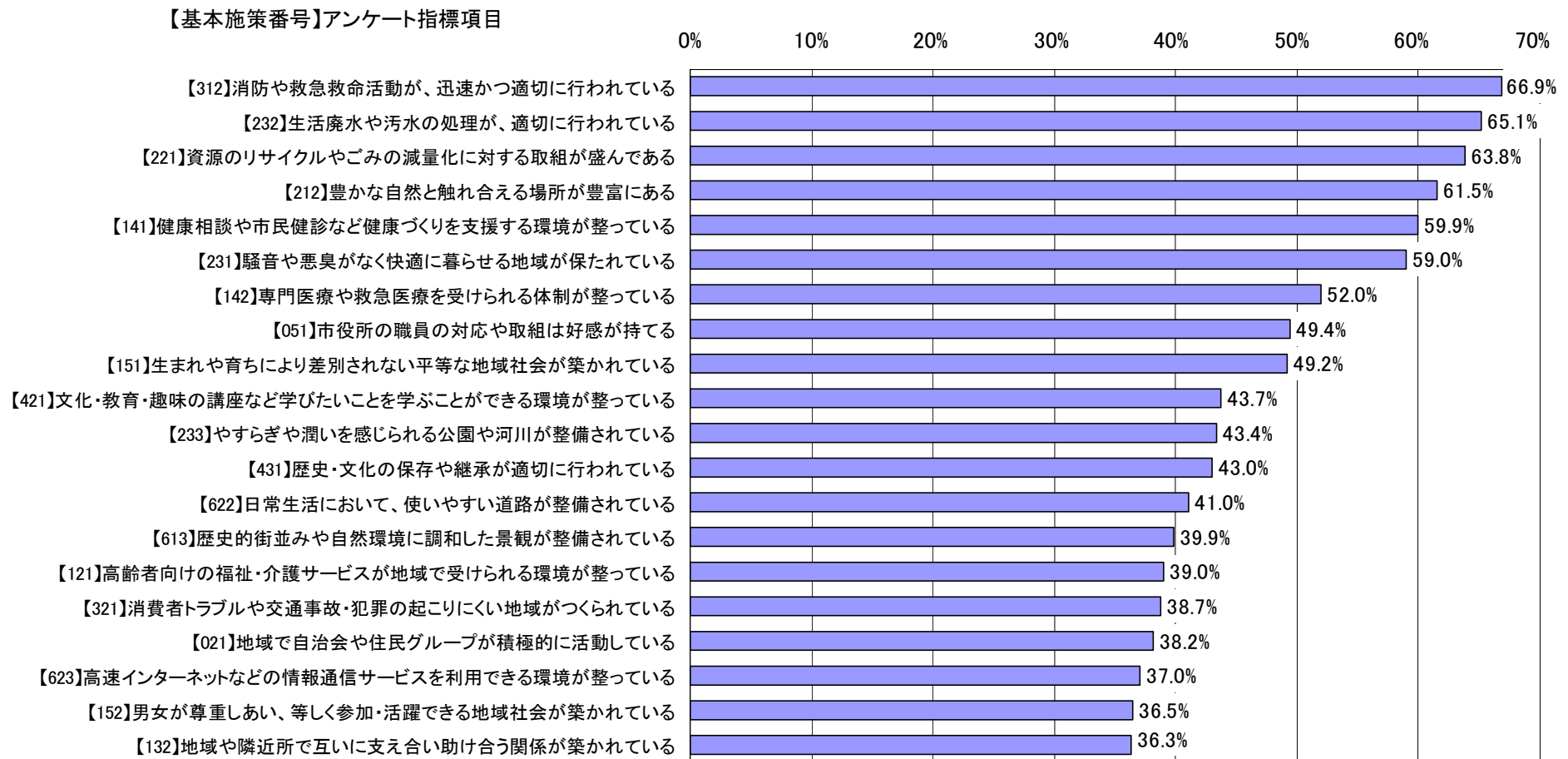
基本構想の実現に向けて、後期基本計画期間に集中的に取り組むことで、一定の成果を上げるために、後期基本計画の44基本施策の中から、市の意思を直接的に反映することができ、かつ、主体的に進めることのできるものとして、将来性・自立性・実現性・具体性の観点から選定した12基本施策

1 第四次長野市総合計画 後期基本計画 アンケート指標(平成24年度満足度結果)

(1)満足度結果(高い順)

この表は、第四次長野市総合計画 後期基本計画の基本施策に設定した44のアンケート指標（市民が思う割合）の平成24年度満足度結果について、満足度の高い順にまとめたものです。なお、本アンケートは、「まちづくりアンケート(毎年11月 広報広聴課担当)」で実施しています。

※満足度…まちづくりアンケートの有効回答のうち、質問に対し、「そう思う」、「ややそう思う」と答えた人の割合の合計値



(2)満足度結果(分野別)

この表は、第四次長野市総合計画 後期基本計画の基本施策に設定した44のアンケート指標（市民が思う割合）の平成24年度満足度結果について、総合計画の分野別に、基準となる平成23年度との比較も含めてまとめたものです。

※目標値…H23実績値を基準として下表のとおり4区分し、少なくとも一つ上位の区分を目指すように目標を設定しています(なお、アンケートで半数以上の市民が肯定的に評価する50%を一定の満足基準としています)。

H23(基準値)の区分		H28(目標値)の表記	考え方
70%以上	→	70%以上	高い評価を今後も継続していく
50%以上～70%未満	→	70%以上	一定の評価を受けるが更に上位を目指す
25%以上～50%未満	→	50～70%	市民の半数が肯定的に評価する50%以上への到達を目指す
25%未満	→	25～50%	評価や理解が少なくとも一段上への改善を要す

No	H24-H23 前年度 との比較	基本施策		アンケート指標	満足度							
		分野	重点 施策	【基本施策番号】及び基本施策名称	質問内容	H23 (基準値)	H24	H25	H26	H27	H28	H28 (目標値)
(1)【行政経営分野】												
1	-2.0%	行政経営		【011】市民とともにつくる市政の実現	(1)市民の意見を取り入れて、市民と行政が協力したまちづくりが行われている	22.1%	20.1%					25～50%
2	-4.0%	行政経営		【021】住民自治の推進	(2)地域で自治会や住民グループが積極的に活動している	42.2%	38.2%					50～70%
3	5.5%	行政経営	○	【022】中山間地域の振興	(3)山あいの地域で、農業や自然を活用した地域づくりが行われている	24.3%	29.8%					25～50%
4	3.9%	行政経営		【031】自立した地方行政の推進	(4)地方の拠点都市または県都「長野市」として周辺地域をリードしている	19.1%	23.0%					50～70%
5	6.7%	行政経営		【032】都市間連携・交流の促進	(5)他の都市との間で観光や文化など、市域や県域を越えた交流や協力がある	19.4%	26.1%					25～50%
6	8.8%	行政経営		【041】効率的な行財政運営の推進	(6)市役所は、行政改革に積極的に取り組んでいる	17.5%	26.3%					25～50%
7	9.9%	行政経営		【051】市民の満足が得られる市役所の実現	(7)市役所の職員の対応や取組は好感が持てる	39.5%	49.4%					50～70%

No	H24-H23 前年度 との比較	基本施策		アンケート指標	満足度							
		分野	重点 施策	【基本施策番号】及び基本施策名称	質問内容	H23 (基準値)	H24	H25	H26	H27	H28	H28 (目標値)
(2)【保健・福祉分野】												
8	-5.3%	1保健・福祉	○	【111】子育て・子育て環境の整備	(8)安心して子どもを産み育てることができる環境が整っている	36.2%	30.9%					50～70%
9	-0.9%	1保健・福祉		【121】高齢者福祉サービスの充実	(9)高齢者向けの福祉・介護サービスが地域で受けられる環境が整っている	39.9%	39.0%					50～70%
10	1.6%	1保健・福祉		【122】高齢者の社会参加の促進	(10)高齢者が地域社会でいきいきと活躍できる環境がある	30.0%	31.6%					50～70%
11	4.1%	1保健・福祉		【131】障害者(児)福祉の充実	(11)障害者が暮らしやすく社会参加しやすい環境が整っている	16.9%	21.0%					25～50%
12	3.6%	1保健・福祉		【132】地域福祉社会の実現	(12)地域や隣近所で互いに支え合い助け合う関係が築かれている	32.7%	36.3%					50～70%
13	8.4%	1保健・福祉		【141】保健衛生の充実	(13)健康相談や市民健診など健康づくりを支援する環境が整っている	51.5%	59.9%					70%以上
14	8.3%	1保健・福祉		【142】地域医療体制の充実	(14)専門医療や救急医療を受けられる体制が整っている	43.7%	52.0%					50～70%
15	1.7%	1保健・福祉		【151】人権尊重社会の実現	(15)生まれや育ちにより差別されない平等な地域社会が築かれている	47.5%	49.2%					50～70%
16	-5.8%	1保健・福祉		【152】男女共同参画社会の実現	(16)男女が尊重しあい、等しく参加・活躍できる地域社会が築かれている	42.3%	36.5%					50～70%
(3)【環境分野】												
17	5.8%	2環境		【211】総合的・計画的な環境対策の推進	(17)地域・企業・行政が一体となった地域全体の環境保全が行われている	23.8%	29.6%					25～50%
18	-1.2%	2環境		【212】良好な自然環境の確保	(18)豊かな自然と触れ合える場所が豊富にある	62.7%	61.5%					70%以上
19	1.1%	2環境	○	【221】省資源・資源循環の促進	(19)資源のリサイクルやごみの減量化に対する取組が盛んである	62.7%	63.8%					70%以上

No	H24-H23 前年度 との比較	基本施策		アンケート指標	満足度								
		分野	重点 施策	【基本施策番号】及び基本施策名称	質問内容	H23 (基準値)	H24	H25	H26	H27	H28	H28 (目標値)	
20	-0.2%	2環境		【231】生活環境の保全	(20)騒音や悪臭がなく快適に暮らせる地域が保たれている	59.2%	59.0%						70%以上
21	-1.1%	2環境		【232】上下水道等の整備	(21)生活廃水や汚水の処理が、適切に行われている	66.2%	65.1%						70%以上
22	-1.2%	2環境		【233】緑化・親水空間の充実・創造	(22)やすらぎや潤いを感じられる公園や河川が整備されている	44.6%	43.4%						50～70%
(4)【防災・安全分野】													
23	6.7%	3防災・安全	○	【311】防災対策の推進	(23)地震や水害などに対する地域での防災体制が整っている	27.3%	34.0%						50～70%
24	9.6%	3防災・安全		【312】消防・救急・救助体制の充実	(24)消防や救急救命活動が、迅速かつ適切に行われている	57.3%	66.9%						70%以上
25	8.8%	3防災・安全		【321】日常生活の安全性の向上	(25)消費者トラブルや交通事故・犯罪の起こりにくい地域がつけられている	29.9%	38.7%						50～70%
(5)【教育・文化分野】													
26	0.9%	4教育・文化	○	【411】魅力ある教育の推進	(26)子どもたちが、いきいきと学ぶ環境が整っている	34.2%	35.1%						50～70%
27	-0.4%	4教育・文化		【412】家庭・学校・地域の連携による教育力の向上	(27)地域ぐるみで子どもを育てていく環境がある	32.3%	31.9%						50～70%
28	5.0%	4教育・文化		【421】活力ある地域を創る生涯学習の推進	(28)文化・教育・趣味の講座など学びたいことを学ぶことができる環境が整っている	38.7%	43.7%						50～70%
29	5.7%	4教育・文化	○	【431】多彩な文化の創造と文化遺産の継承	(29)歴史・文化の保存や継承が適切に行われている	37.3%	43.0%						50～70%
30	4.2%	4教育・文化	○	【441】スポーツを軸としたまちづくりの推進	(30)子どもから高齢者までだれもが気軽にスポーツに取り組める環境が整っている	26.6%	30.8%						50～70%
31	6.3%	4教育・文化		【451】国際化の推進	(31)外国の人や文化との交流が行われている	13.4%	19.7%						25～50%

No	H24-H23 前年度 との比較	基本施策		アンケート指標	満足度							
		分野	重点 施策	【基本施策番号】及び 基本施策名称	質問内容	H23 (基準値)	H24	H25	H26	H27	H28	H28 (目標値)
(6)【産業・経済分野】												
32	-4.6%	5産業・経済	○	【511】多様な観光交流の推進	(32)自然や歴史資源を活用した魅力ある観光都市づくりが行われている	35.7%	31.1%					50～70%
33	-9.3%	5産業・経済	○	【521】未来に向けた農業の再生・振興	(33)競争力があり価値が高い農産物が生産されている	40.5%	31.2%					50～70%
34	-5.3%	5産業・経済		【522】中山間地域の農業振興	(34)山あいの地域で、いきいきと農業の生産活動が行われている	26.4%	21.1%					50～70%
35	1.3%	5産業・経済		【523】豊かな森林づくりと林業の振興	(35)森林や山林資源の整備と有効活用が行われている	12.1%	13.4%					25～50%
36	-2.6%	5産業・経済	○	【531】産業の集積と工業の活性化	(36)工業や製造業に活気がある	9.5%	6.9%					25～50%
37	-0.4%	5産業・経済		【541】力強い商業への転換	(37)个性的で魅力的なお店が増えている	22.6%	22.2%					25～50%
38	4.8%	5産業・経済		【551】安定した地域雇用の確保	(38)働きたい人が仕事につきやすい環境がある	4.3%	9.1%					25～50%
(7)【都市整備分野】												
39	-8.1%	6都市整備	○	【611】コンパクトなまちづくりの推進	(39)魅力と賑わいがある中心市街地が整備されている	23.3%	15.2%					25～50%
40	-2.5%	6都市整備		【612】快適に暮らせるまちづくりの推進	(40)公共施設や歩道は、すべての人にやさしく暮らしやすいつくりとなっている	21.2%	18.7%					25～50%
41	-2.8%	6都市整備		【613】良好な景観の形成	(41)歴史的街並みや自然環境に調和した景観が整備されている	42.7%	39.9%					50～70%
42	4.3%	6都市整備	○	【621】交通体系の整備	(42)公共交通機関が、利便性と環境負荷の軽減を考慮しながら整備されている	21.6%	25.9%					25～50%
43	5.0%	6都市整備		【622】道路網の整備	(43)日常生活において、使いやすい道路が整備されている	36.0%	41.0%					50～70%
44	4.5%	6都市整備		【623】高度情報化の推進	(44)高速インターネットなどの情報通信サービスを利用できる環境が整っている	32.5%	37.0%					50～70%

2 第四次長野市総合計画 後期基本計画 基本施策指標(平成24年度実績)

【表の見方】…次ページからの表の解説です。

基本施策担当部局名

基本施策 011	市民とともに作る市政の実現	主 担 当	地 域 振 興 部
		H24 当初予算額	H25 当初予算額
		149,379 (千円)	141,978 (千円)

方 針 (基本施策の目指すもの)	市政の透明性と公平性を高めるとともに、市民と行政の協働により、市民一人ひとりが参加している意識や実感が持てる身近な市政を目指します。
---------------------	--

平成23年度は、後期基本計画期間ではないため参考値です。

制度や統計手法等の改変により、指標の考え方や目標の捉え方が変質している指標がある場合等に記入しています。

基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
審議会等への公募委員の参画率	省 略	16.2	14.8	15.1	/	/	/	20.0	%
市民公益活動団体等との協働事業数	省 略	46	50	55	/	/	/	51	件
市政出前講座の年間開催件数	省 略	294	320	303	/	/	/	350	件

平成24年度実績の説明です。

基本施策の推進に関する説明

【カッコ】は、基本施策指標の担当課です。

	指標の実績状況	指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 審議会等への公募委員の参画率は、応募者がいないなどの理由から予定した公募委員の確保が難しい状況にあるが、昨年度よりも上昇した。【行政管理課】 ● 市民公益活動団体等との協働事業数は目標に達した。【市民活動支援課】 ● 市政出前講座の開催回数は前年に比べ減少したが、年間300件を超えている。【広報広聴課】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20%以上の市民公募枠の確保に向け、新規委員選任時及び更新時に市民参画を積極的に進めるよう、庁内に広く周知をしていく。【行政管理課】 ● 目標に達した市民公益活動団体等との協働事業は、現状の取組を継続しながら、更なる増加を目指す。【市民活動支援課】 ● 市政出前講座の利用促進を図るため、メニューの充実を図るとともに市民に対し制度の周知をさらに進め、目標達成を目指す。【広報広聴課】
平成25年度		<ul style="list-style-type: none"> ● 基本施策指標の目標値達成のため、何をどのように取組むことによって達成が可能なのかも含め、後期基本計画期間中の取組方針について説明しています。

基本施策 011		市民とともにつくる市政の実現						主 担 当		地 域 振 興 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								149,379 (千円)		141,978 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)		市政の透明性と公平性を高めるとともに、市民と行政の協働により、市民一人ひとりが参加している意識や実感が持てる身近な市政を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
審議会等への公募委員の参画率	市の審議会等における市民公募委員の割合 公募委員数/審議会等委員数(公募を行わない審議会を除く)	16.2	14.8	15.1	/	/	/	20.0	%		
市民公益活動団体等との協働事業数	市と市民公益活動団体との協働による取組の数	46	50	55	/	/	/	51	件		
市政出前講座の年間開催件数	市民等からの依頼による元気なまちづくり市政出前講座の年間開催件数	294	320	303	/	/	/	350	件		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況	指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針									
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 審議会等への公募委員の参画率は、応募者がいないなどの理由から予定した公募委員の確保が難しい状況にあるが、昨年度よりも上昇した。 【行政管理課】 ● 市民公益活動団体等との協働事業数は目標に達した。 【市民活動支援課】 ● 市政出前講座の開催回数は前年に比べ減少したが、年間300件を超えている。 【広報広聴課】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20%以上の市民公募枠の確保に向け、新規委員選任時及び更新時に市民参画を積極的に進めるよう、庁内に広く周知をしていく。 【行政管理課】 ● 目標に達した市民公益活動団体等との協働事業は、現状の取組を継続しながら、更なる増加を目指す。 【市民活動支援課】 ● 市政出前講座の利用促進を図るため、メニューの充実を図るとともに市民に対し制度の周知をさらに進め、目標達成を目指す。 【広報広聴課】 									
平成25年度	/										
平成26年度	/										
平成27年度	/										
平成28年度	/										

基本施策 021 住民自治の推進		主 担 当		地 域 振 興 部						
		H24 当初予算額 379,185 (千円)		H25 当初予算額 389,794 (千円)						
方 針 (基本施策の目指すもの)	住民自らの自治意識を高めるとともに、まちづくり活動や地域福祉活動を行う人材の発掘・育成を支援し、住民主体によるまちづくりを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		単位
地域における自主的なまちづくり活動の取組件数	住民自治協議会や市民公益活動団体などが自主的なまちづくり活動を行うために、市・県の支援制度を積極的に活用し取り組む事業の申請件数	107	101	102	/	/	/	100	件	やる気支援申請件数(都市内分権課)+まちづくり申請件数(市民活動支援課)+県元気づくり支援金申請件数(企画課)
コミュニティ活動リーダー育成のための年間公民館講座数	地域の抱える諸課題解決等のために公民館が開催する講座数	27	28	55	/	/	/	29	講座	
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●地域における自主的なまちづくり活動の取組件数は、目標に達した。【都市内分権課】 ●公民館におけるコミュニティ活動リーダー育成等の講座の開催は、14館で55講座と増加した。【生涯学習課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●目標に達した地域における自主的なまちづくり活動の取組件数は、現状の取組を継続しながら、更なる増加を目指す。【都市内分権課】 ●公民館講座については、地域課題の解決等のため全公民館(29館)でコミュニティ活動のリーダー育成等の講座の開催を目指す。【生涯学習課】 					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

重点施策		基本施策 022 中山間地域の振興						主担当 地域振興部	
		H24 当初予算額 203,657 (千円)				H25 当初予算額 188,140 (千円)			
方針 (基本施策の目指すもの)	「やまざと」のもつ魅力や資源をいかし、未来につなぐ、いきいきとし元気な地域づくりを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位	
中山間地域の農業体験への年間参加者数	中山間地域の都市農村活動参加者の延べ人数	30,434	32,041	35,239	/	/	/	38,000 人	
民泊を伴う修学旅行生の受入れ地区数	民泊を伴う修学旅行生を受け入れた地区の数(年次)	5	6	7	/	/	/	10 地区	
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域の農業体験への年間参加者数は、年々増えている状況である。【農業政策課】 ●民泊を伴う修学旅行の受入れ地区数は、年々増えている状況である。【農業政策課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●県のグリーンツーリズム協議会と連携して、更なる農業体験者の増加を目指す。【農業政策課】 ●民泊を伴う修学旅行は需要が増えているため、現在受け入れていない地域においても、受け入れている地域と連携しノウハウを取得することにより、新規受け入れ組織の設立を目指す。【農業政策課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

基本施策 031 自立した地方行政の推進		主 担 当		企 画 政 策 部					
		H24 当初予算額 63,034 (千円)		H25 当初予算額 66,218 (千円)					
方 針 (基本施策の目指すもの)	全国の中核市と権限や財源の移譲に向けた取組を進めるとともに、関係市町村との広域連携による自立性の高い地方行政の確立を目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
広域行政で実施している事務事業数	長野広域連合が行っている広域的な事務事業数	12	12	11	/	/	/	14	件
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	●長野広域連合が実施している広域的な事務事業数は、広域的事務処理目的達成により、平成23年度をもって終了した事業が1事業あったため、減少した。【企画課】				●長野広域連合の広域的課題調査専門部会を活用して、多様化した広域的行政需要に適切かつ効率的に対応できる広域事務の検討を行い、広域的事業の増加を目指す。【企画課】				
平成25年度	/				/				
平成26年度	/				/				
平成27年度	/				/				
平成28年度	/				/				

基本施策 032	都市間連携・交流の推進							主担当		企画政策部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								7,780 (千円)	16,339 (千円)		
方針 (基本施策の目指すもの)	県内外の様々な都市と互いの特性をいかした連携・交流を深めるとともに、長野の魅力を積極的に発信し、活力あるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
集客プロモーションパートナー都市協定締結数(累計)	観光交流促進・観光情報交換を目的として長野市が都市間協定を締結している都市の数	4	4	5	/	/	/	8	件		
シティプロモーションホームページへの年間アクセス件数	シティプロモーションホームページへの年間のアクセス件数	—	—	—	/	/	/	100	万件		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●集客プロモーションパートナー都市協定を平成24年10月2日に富山市と締結。今回の締結により石川、富山及び新潟の各県に協定都市ができ、北陸地方との交流をさらに促進することができた。【観光振興課】 ●平成25年1月に策定した「ながのシティプロモーション推進プラン」に基づき設立された、ながのシティプロモーション実行委員会において、シティプロモーション専用ホームページの構築を行った。【秘書課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●集客プロモーションパートナー都市協定は、平成26年度末の北陸新幹線金沢延伸を念頭においた新規締結都市を検討する。【観光振興課】 ●シティプロモーションホームページを本市の魅力「見つけ」「集め」「創る」ための情報収集ツールとして、また、本市の魅力を発信するツールとして、新聞広告を活用したり実行委員会構成団体に活用を促す等して、アクセス件数の目標達成を目指す。【秘書課】 						
平成25年度	/				/						
平成26年度	/				/						
平成27年度	/				/						
平成28年度	/				/						

基本施策 041	効率的な行財政運営の推進							主 担 当		総 務 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								43,074,407 (千円)		45,693,877 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)	「選択と集中」を基本とした行政サービスの継続的な見直しとともに、市民と行政の適切な役割分担により、最少の経費で最大の効果があげられる行財政運営を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
行政改革大綱実施計画による改革取組数(累計)	行政改革大綱実施計画による改革取組数(累計)	226	231	231	/	/	/	300	件		
指定管理者制度を導入した公の施設の数	指定管理者制度を導入した公の施設数(各年度当初の状況)	320	328	333	/	/	/	427	施設		
実質公債費比率	公債費(公営企業等への繰出金を含む)に充てられる一般財源の標準財政規模に対する割合	11.9	11.0	算定中	/	/	/	18.0未満	%		
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率	35.6	24.0	算定中	/	/	/	150未満	%		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●行政改革大綱実施計画による改革取組数は、第5次行政改革大綱の改革期間(平成20～24年度)の最終年度にあたることから、新規項目を設けなかったため、件数が増加しなかった。【行政管理課】 ●指定管理者制度を導入した公の施設数は、公の施設への指定管理者制度の定着とともに大きな伸びはないものの、数字を伸ばしている。【行政管理課】 ●実質公債費比率及び将来負担比率の確報値は、11月下旬となる見込み。【財政課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●行政改革大綱実施計画による改革取組数は、第6次行政改革大綱の改革期間(平成25～29年度)の開始年度であることから、より一層の増加を目指す。【行政管理課】 ●指定管理者制度の新規導入・更新に当っては、これまでの導入の効果を踏まえ、効率の良い運営を図れる施設について、よりよい方向性を見極めながら進める。【行政管理課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 051		市民の満足が得られる市役所の実現						主 担 当		総 務 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								4,419,429 (千円)	2,833,603 (千円)		
方 針 (基本施策の目指すもの)	市民の目線に立った行政サービスを提供し、市民の更なる満足が得られる質の高い行政経営を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
電子申請が可能な申請届出の実施数(累計)	市の申請・届出・予約等のうち、電子申請が可能な手続き件数	40	44	45	/	/	/	70	件		
長野市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数	インターネットから行政情報の提供を受けた件数	194	223	206	/	/	/	228	万件		
市民1万人当たりの職員数	市の正規職員数(消防部門を除く。)÷市の人口×1万人	63.1	62.9	62.7	/	/	/	64.0	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●電子申請が可能な申請届出の実施数は、添付書類が不要で電話で受付している手続きを電子申請により実施されるよう事業担当課に働きかけたことにより、1件の増加となった。【情報政策課】 ●市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数は、同程度の水準で推移している。なお、平成24年度はホームページのリニューアルを行った。【広報広聴課】 ●職員数については、平成22年度～26年度を計画期間とする第四次定員適正化計画に基づき削減に取り組み、15人を削減した。【職員課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●電子申請が可能な申請届出の実施数増加のため、今後も継続して幅広い分野を対象に、行政手続きの電子化が促進されるよう市内各課に働きかけるとともに、申請時に必要な書類の削減、簡素化やオンライン提出について検討を働き掛ける。また、本人確認が必要な手続きについては、マイナンバー法に基づく個人番号カード(ICカード)の活用議論の状況を注視しながら、電子化拡充に向けた検討及び手数料の納付方法について検討していく。【情報政策課】 ●誰にも分かりやすく利用しやすいホームページを目指し、市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数の実績値の向上に努める。【広報広聴課】 ●大型プロジェクトの集中、生活保護・介護保険など福祉業務の増加への対応など、今後も事務量の増加が見込まれるが、市民1万人当たりの職員数については、適正な職員配置により必要最小限の職員とすることで、目標達成に向けて取り組む。【職員課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

重点施策		基本施策 111 子育て・子育て環境の整備						主担当 保健福祉部	
		H24 当初予算額 15,101,248 (千円)				H25 当初予算額 15,241,646 (千円)			
方針 (基本施策の目指すもの)	多様なライフスタイルに合わせて安心して子どもを産み育てることができ、社会全体で子育て・子育てを支え合いながら、次世代を担う子どもが健やかに生まれ育つまちを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位	
長野市の合計特殊出生率	一人の女性が生涯に産む子どもの数。厚生労働省の人口動態統計に準じて、長野市数値を毎年独自に算出。外国人も含めた出産可能年齢人口(15歳～49歳の女性)の数値で算出。	1.46	1.49	算定中	/	/	/	1.46	—
地域子育て支援センター及びこども広場の利用者数	子育て家庭を支援する地域子育て支援センター及びこども広場の利用者数	147,299	147,935	141,779	/	/	/	150,000	人
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●長野市の合計特殊出生率については、現在算定中【保育家庭支援課】 ●地域子育て支援センター及びこども広場の利用者数は、前年度より6,156人減少した。【保育家庭支援課】 <内訳>・こども広場の利用者数 延べ 90,217人(前年度より4,869人減) ・地域子育て支援センターの利用者数 延べ51,562人(前年度より1,287人減) ◎合計 延べ141,779人(前年度より6,156人減)				<ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センター及びこども広場の利用者数増加のため、4か月児健診等の機会を通じて、施設の積極的な周知に努める。 なお、平成25年4月に新たに地域子育て支援センターを設置した(杉の子保育園に併設)。 また、地域子育て支援センターは市内に15箇所整備済であるが、平成26年度までに新たに1箇所の設置を目指す。【保育家庭支援課】				
平成25年度	/				/				
平成26年度	/				/				
平成27年度	/				/				
平成28年度	/				/				

基本施策 121	高齢者福祉サービスの充実							主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								33,428,084 (千円)		35,197,512 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	保健・医療・福祉の一層の連携により、高齢者が必要なときに必要なサービスを利用でき、住み慣れた地域で認め合い支え合いながら心豊かに暮らせるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			単位
介護・支援を必要としない高齢者の割合(自立高齢者(元気高齢者)の割合)	65歳以上高齢者のうち要支援・要介護認定されていない高齢者の割合	82.1	81.3	81.2	/	/	/	82.0	%		
介護保険給付における居宅及び地域密着型サービス率	介護保険給付(介護給付・予防給付)に占める居宅サービス費及び地域密着型サービス費の割合	60	60.9	62.7	/	/	/	64	%		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 元気高齢者の割合は、前年度からわずかに減少した。【介護保険課】 H25.3.31現在65歳以上人口:99,499人 要支援・要介護認定されている高齢者:18,722人 要支援・要介護認定されていない高齢者数:80,777人 ● 通所介護等の居宅サービス及び小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスの提供事業所の増加により、居宅及び地域密着型サービスの給付費割合が増加している。【介護保険課】 					<ul style="list-style-type: none"> ● 元気高齢者割合に資する介護予防事業の利用促進を図るため、周知の工夫や参加しやすい環境づくりに努めるとともに、地域で元気高齢者が介護予防活動を継続的に取組めるよう支援していく。【介護保険課】 ● 第5期介護保険事業計画に基づき、重度者をはじめとした要介護高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせる在宅生活を継続できるよう、居宅サービス及び地域密着型サービスの充実を図るとともに、並行して施設・居住系サービスの基盤整備を促進し、環境づくりに努める。【介護保険課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 122 高齢者の社会参加の促進		主担当		保健福祉部					
		H24 当初予算額		H25 当初予算額					
		557,059 (千円)		542,038 (千円)					
方針 (基本施策の目指すもの)	高齢者が、自分らしくそれぞれの経験と知識をいかして、積極的に社会的役割を果たすことができ、生きがいの持てる活力あるまちを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
介護・支援を必要としない高齢者の割合(自立高齢者(元気高齢者)の割合)	65歳以上高齢者のうち要支援・要介護認定されていない高齢者の割合	82.1	81.3	81.2	/	/	/	82.0	%
生きがいづくり講座年間受講者数	老人福祉センター、ふれあい交流広場等主催の各種講座の受講者総数	57,752	55,228	50,402	/	/	/	65,730	人
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●元気高齢者の割合は、前年度からわずかに減少した。【介護保険課】 H25.3.31現在65歳以上人口:99,499人 要支援・要介護認定されている高齢者:18,722人 要支援・要介護認定されていない高齢者数:80,777人 ●生きがいづくり講座については、市民負担の公平性の確保のため、従来無料であった講座を平成24年度から有料化(1回100円、湯～ぱれあを除く)したことが、受講者数に影響したと思われる。【高齢者福祉課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●元気高齢者割合に資する介護予防事業の利用促進を図るため、周知の工夫や参加しやすい環境づくりに努めるとともに、地域で元気高齢者が介護予防活動を継続的に取り組めるよう支援していく。【介護保険課】 ●生きがいづくり講座については、高齢者の生きがいづくりや地域活動のきっかけづくりのための講座を開設するとともに、利用者のニーズに応じて、健康づくり、介護予防や認知症予防などを主眼とした講座の充実を図る。【高齢者福祉課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

基本施策 131	障害者(児)福祉の充実							主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額 6,302,248 (千円)		H25 当初予算額 6,787,334 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	障害のある人もない人も互いを尊重した支え合いのもと、障害者が自らの意思で選択・行動し、自分らしく自立して暮らせるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
一般企業の障害者雇用率	企業が雇用する常用労働者数に占める障害者数の割合	1.80	1.80	1.86	/	/	/	2.00	%		
居宅介護等の年間利用時間数	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援の年間総利用時間数	111,053	122,102	120,509	/	/	/	132,600	時間		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況	指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針									
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●一般企業の障害者雇用率は、アビリンピック等の開催により、障害者雇用に対する市民の理解が深まったため、昨年より上昇した。【障害福祉課】 ●居宅介護等の年間利用時間数は、利用者数は増加しているものの、実績の利用時間数は減となった。【障害福祉課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、障害者雇用に対する市民の理解を深めるため、PR活動に努める。【障害福祉課】 ●引き続き必要な支援が受けられるよう、支給決定をしていく。【障害福祉課】 									
平成25年度	/										
平成26年度	/										
平成27年度	/										
平成28年度	/										

基本施策 132	地域福祉社会の実現							主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								6,311,410 (千円)		6,041,546 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域に暮らす一人ひとりが認め合い支え合い共に生きていく地域福祉社会の実現を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
地域福祉活動計画策定地区数	32地区での地域福祉活動計画策定済みの地区数	19	22	26	/	/	/	32	地区		
生活保護自立更生率	生活保護廃止件数÷(生活保護受給世帯数+生活保護廃止件数)×100 (死亡失踪を除く)	7.9	8.2	7.8	/	/	/	8.5	%		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉活動計画策定地区数は順調に増加している。【厚生課】 ●生活保護自立更生率は、死亡・失踪による廃止が増えているため、前年度実績値と比較して更生率が減少した。【厚生課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉活動計画策定地区数については、未着手の2地区に対する説明及び計画策定中の4地区に対する計画づくりの支援を市社協とともに継続することで目標達成を目指す。【厚生課】 ●生活保護自立更生率は、下記取組により、向上を目指す。【厚生課】 <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク等との連携を強化し、稼働できる方の就労を増やす。 ・保護開始直後から、集中的に就労活動を支援する。 ・十分な収入より、まず就労して、次のステップを目指す。 ・扶養義務者の調査を徹底する。 					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

基本施策 141	保健衛生の充実							主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								3,532,241 (千円)		3,625,615 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	幼年期から高年期までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを通じて、市民一人ひとりが健康の保持・増進に取り組み、良好な生活衛生水準のもと、生涯にわたって健やかに暮らせるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
健康寿命(65歳を起点とした平均自立期間)	要介護率を生命表(年齢別・性別に生存率、死亡率、平均余命などを示したものに割り当てた平均自立期間)	男性12.5 女性15.4 (H21)	男性12.9 女性15.6 (H22)	男性12.8 女性15.4 (H23)	/	/	/	男性13.9 女性16.9	年		
心疾患、脳血管疾患の死亡率(人口10万対)	人口10万人当たりの死亡率	236.8 (H21)	283.6 (H22)	280.7 (H23)	/	/	/	214.1			
がん検診受診率	各種がん検診受診率(市実施のがん検診及び職場検診、人間ドック等含む)	36 (H21)	33 (H22)	33 (H23)	/	/	/	50	%		
長野市に流通する食品の不適率	市内に流通する食品の検査の結果、食品衛生法及び長野市の食品の指導基準に適合していない検査項目数の割合 不適項目数/検査項目数×100	0.3	0.14	0.29	/	/	/	0.1	%		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康寿命」は、男性は目標値13.9に対して、基準値12.5から12.8と若干「改善傾向」となっているが、女性は「横ばい」。【健康課】 ●「心疾患・脳血管疾患の死亡率」は、目標値214.1に対して、基準値236.8から280.7と「悪化傾向」。【健康課】 ●「がん検診受診率」は基準値36に対して33と「悪化傾向」。【健康課】 ●食品の不適率は、細菌等の汚染を排除し難い生食用野菜等を含む食品を重点的に細菌検査したため、H23と比較し上昇する結果となった。【食品生活衛生課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●健康増進計画「新・健康ながの21」(H23～28)における各施策の結果を振り返り、目標の達成状況や促進・阻害要因を探り、計画後半の各施策へ反映させることを目的に、今年度、中間評価を実施する。【健康課】 ●食品の不適率減少のため、長野市食品衛生監視指導計画に定める基本方針に基づき、監視指導の充実、強化を図るとともに、事業者の自主管理意識の高揚を図る事業を推進する。【食品生活衛生課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 142	地域医療体制の充実							主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								64,905,210 (千円)		66,615,514 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	信頼される地域医療と救急体制のもと、だれもがいつでも身近な地域で安心して、質の高い医療が受けられるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			単位
医療に関する年間相談数	医療安全支援センターに寄せられた医療に関する相談件数	599	637	660				900	件		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●医療行為、医療内容、医療機関従事者の接遇等に対する苦情の相談件数は増加したが、健康や病気に関する相談件数が前年に比べ減少し、全体件数増加の伸びが抑えられた。相談件数全体としては、微増傾向にある。 【総務課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●受付体制を相談業務経験豊富な専任看護師1名のほか兼任で保健師1名、事務職員4名を配置し、幅広く専門的相談に対応できるようにしている。今後とも市民が利用しやすいように更なるPRに努める。【総務課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 151		人権尊重社会の実現						主担当		保健福祉部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
				145,378 (千円)		89,489 (千円)					
方針 (基本施策の目指すもの)	すべての人が人間として尊重され、共に心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる差別のない明るい社会の実現を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
人権同和教育に関する各 地区住民自治協議会が実 施する研修会への年間参 加者数	市内32地区の住民自治協議会が実施す る人権同和教育に関する研修会への年間 参加者数	17,767	17,157	18,026	/	/	/	21,000	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	●前年と比較して各地区における研修会、住民集会の件数及び一件あたりの参加人数も増加した。【人権同和政策課】					●研修会・住民集会における参加人数が目標値に達せられるよう、地区関係者に依頼するとともに当課としても支援していく。【人権同和政策課】					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

基本施策 152	男女共同参画社会の実現							主 担 当		生 活 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								64,715 (千円)		63,860 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)	男女が共に社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、対等なパートナーとして責任を分かち合い、性別にかかわらず個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
審議会等への女性の参画率	市の審議会等における女性委員の割合	36.3	36.2	35.8	/	/	/	40.0	%		
男性の家事への参画率	家事(主に炊事・掃除・洗濯・買い物)をする男性の市民の割合	69.5	70.0	73.0	/	/	/	80.0	%		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 審議会等への女性の参画率については、民間諸団体からの推薦による女性委員の減少や女性の公募委員の減少による影響により実績値が減少した。【男女共同参画推進課】 ● 男性の家事への参画率については、順調に推移している。【男女共同参画推進課】 					<ul style="list-style-type: none"> ● 審議会等への女性の参画率については、民間諸団体からの推薦にあたり、女性の参画について各所属を通じて働きかけを行う。【男女共同参画推進課】 ● 今後も目標達成に向け、意識啓発を図っていく。【男女共同参画推進課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 211	総合的・計画的な環境対策の推進							主 担 当		環 境 部	
								H24 当初予算額	H25 当初予算額		
							8,054 (千円)	7,204 (千円)			
方 針 (基本施策の目指すもの)	地球環境を思いやる人づくりを推進し、市民・事業者・行政が連携を強化して環境への影響を低減するまちづくりを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する年間取組件数	ながの環境パートナーシップ会議が取り組む環境保全(プロジェクト)活動の年間取組件数	238	256	209	/	/	/	266	件		
マイバッグ持参率	ながの環境パートナーシップ会議や市民団体等が一斉に店頭調査するマイバッグの持参率	46.0	49.3	44.9	/	/	/	60.0	%		
環境学習会年間参加者数	長野市が主催する環境学習会の年間参加者数(環境政策課主催+地区公民館主催)	2,425	4,197	5,055	/	/	/	3,100	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●ながの環境パートナーシップ会議において、環境保全活動に継続的に取り組んでいるが、各プロジェクトチームによるイベント等の開催件数は少なかった。【環境政策課】 ●環境学習会参加者は、子どもから大人までを対象に興味、関心のある学習会を企画したため増加となった。【環境政策課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●イベント単位では参加人数が増加しているので、平成25年度は、環境保全活動の質の充実とともに、取組件数の増加を図りたい。【環境政策課】 ●環境政策課が主催する自然とのふれあいや体験的な学習会は、さまざまな世代が気軽に参加できる内容とし、地区公民館が主催する地域が主体となった環境学習会では、地域の実情に沿った学習会の内容として、学習会の参加者を増やし環境問題の解決に向けた環境保全活動の推進を図る。【環境政策課】 					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

基本施策 212	良好な自然環境の確保						主 担 当		環 境 部	
							H24 当初予算額		H25 当初予算額	
							7,556 (千円)	1,939 (千円)		
方 針 (基本施策の目指すもの)	豊かな自然環境のもとに生物多様性が確保され、きれいな水や大気、緑とのふれあいがあるまちづくりを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		
ホテルを見かけることがあ る市民の割合	大切にしたい長野市の自然(長野市版レッ ドデータブック)に掲載されている身近な減 少種であるホテルの目撃割合	18.2	18.5	17.8	/	/	/	30.0	%	
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●本市特有の生物多様性の保全に向けた取組を一層推進していくため、その基礎となる、市内の自然環境の現況を把握、整理し、とりまとめた「大切にしたい長野市の自然」(H15年)の改訂版を、専門家などの協力により作成し発刊した。【環境政策課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●「大切にしたい長野市の自然」(改訂版)に掲載されている動植物種の保全活動に対する支援を検討し、実施する。 また、ホテルについては、生息できる環境の保全に向けて取り組むとともに、住民自治協議会などの団体と連携し、発生場所や時期を案内できる体制などについて検討する。【環境政策課】 				
平成25年度	/					/				
平成26年度	/					/				
平成27年度	/					/				
平成28年度	/					/				

重点施策		基本施策 221 省資源・資源循環の促進						主担当 環境部	
		H24 当初予算額 3,379,243 (千円)				H25 当初予算額 4,167,822 (千円)			
方針 (基本施策の目指すもの)	市民・事業者・行政がそれぞれの役割に応じ、ごみの発生抑制、再使用・再資源化やエネルギーの適正利用を促進することで、環境共生都市の実現を目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位	
太陽光発電設備規模 (累計)	【住宅用】 住宅に設置した太陽光発電システムの最大発電量の合計	11,982	17,186	24,119	/	/	/	38,000	kw
	【公共施設、事業所等】 公共施設・事業所等に設置した太陽光発電システムの最大発電量の合計	749	1,184	3,480	/	/	/	3,000	kw
エコカー登録率(推計)	長野市内の全自動車に占める電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス車、メタノール車の登録割合(軽自動車除く)	2.6	3.6	5.0	/	/	/	15.0	%
ごみの年間総排出量	家庭系ごみ排出量+事業系ごみ排出量+集団回収量	133,179	135,143	135,255	/	/	/	129,140	t
ごみのリサイクル率	(資源化量+集団回収量)÷ごみ総排出量×100	28.9	28.5	27.9	/	/	/	29.9	%
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電設備は、平成24年7月に導入された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により設置件数が増加しているため、設備規模が順調に増加している。【環境政策課】 ●ごみ総排出量は、家庭系ごみ排出量(前年度対比△0.9%)・集団資源回収量(前年度対比△0.3%)は微減したが、事業系ごみ排出量(前年度対比2.3%)が増加したため、微増した。【生活環境課】 ●リサイクル率は、資源化量(前年度対比△3.3%)と集団資源回収量(上記参照)が減少し、ごみ総排出量が微増したため、微減した。【生活環境課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光発電設備規模については、一般住宅用が目標未達成のため、引続き補助制度を継続していく。【環境政策課】 ●ごみ減量アドバイザー派遣制度や生ごみ自家処理機器購入費補助制度等を市民に広く周知すると共に、出前講座や住民説明会を通し市民の意識啓発を図る。【生活環境課】 ●ごみ多量排出事業所に対して減量計画書の提出及び立ち入り調査の実施により、計画的な取組を推進する。【生活環境課】 ●事業ごみ減量マニュアルの活用、事業所での出前講座を通し、減量化の推進や分別の徹底を図る。【生活環境課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

基本施策 231	生活環境の保全							主 担 当		環 境 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								923,642 (千円)		866,213 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)	廃棄物※の適正処理を進めるとともに、環境美化や公害防止のための意識の高揚を図ることにより、清潔で快適な生活環境の実現を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		単位	
ポイ捨て吸殻本数	長野大通り10箇所毎月1回収を実施した吸殻の年間10箇所分を合計した回収1回あたり平均本数	106	84	82	/	/	/	70	本		
大気環境基準達成率	大気汚染測定局数に対する環境基準の達成局数の割合	76.47	76.47	77.78	/	/	/	77.78	%	H23実績値は、二酸化窒素6測定局のうち1局の故障により測定データが有効時間数に達しなかったため評価対象から除いた。	
中小河川BOD平均値	市内中小河川13河川のBOD平均値	1.7	1.1	2.4	/	/	/	2.0	mg/l	基準値・実績値は、単年度平均値	
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●ポイ捨て吸殻本数は、「ポイ捨て等を防止し、ごみないきれいなまちをつくる条例」の啓発活動により、市民の間に条例の周知が徐々に図られ、減少したと考えられる。【環境政策課】 ●大気環境基準達成率は目標値に達した。【環境政策課】 ●中小河川2河川でBODの目標値を達成しなかったため、平均値が目標に達しなかった。【環境政策課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●「ポイ捨て等を防止し、ごみのないまちをつくる条例」が制定され、3年が経過する。更なる市民の美化意識の向上を図るため、条例の周知、啓発方法を検討する。【環境政策課】 ●大気測定機の保守点検を適切に実施し、測定による状況把握及び情報の提供を行うとともに、ばい煙発生施設への立入検査、大気汚染防止のための啓発活動を継続して実施する。【環境政策課】 ●中小河川の測定を継続し、状況把握と情報の提供を行う。測定値が異常な場合は、原因調査を行い対策を講じる。【環境政策課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 232	上下水道等の整備							主担当		上下水道局	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								41,163,611 (千円)		39,140,132 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	ライフラインとして重要な上下水道等を計画的・効率的に整備し、安全で快適な生活環境の形成を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
老朽管解消率	老朽管布設替延長÷老朽管全体延長×100	3.5	6.2	8.8	/	/	/	12.2	%		
汚水処理人口普及率	汚水処理施設の利用可能人口÷行政人口(外国人含まない)×100 ⇒ 前期指標「下水道等の普及率」と同義	91.7	93.5	95.1	/	/	/	99.4	%	住民基本台帳法の改正に伴い、H24から行政人口に外国人含む	
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●老朽管解消率は、平成24年度から国庫補助事業を活用し、順調に推移している。【水道整備課】 ●公共下水道等の整備は計画的に進められており、平成24年度末に汚水処理人口普及率95%の概成を達成することができた。【下水道整備課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●「長野市水道ビジョン」に基づき老朽管解消事業を継続し、今後も安全でおいしい水の安定的な供給を目指す。【水道整備課】 ●汚水処理人口普及率は、計画的な公共下水道整備を継続するとともに、戸別浄化槽の普及を図り、目標の達成を目指す。【下水道整備課】 					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

基本施策 233	緑化・親水空間の充実・創造						主担当		都市整備部	
							H24 当初予算額		H25 当初予算額	
							1,468,148 (千円)	2,506,439 (千円)		
方針 (基本施策の目指すもの)	生活に身近な緑化空間や親水空間の整備により、潤いとやすらぎを実感できる空間の充実と創造を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位	
市民一人当たりの都市公園面積	都市公園面積(累計)÷行政人口	7.29	7.33	7.38	/	/	/	8.20	m ²	
多自然型河川の整備延長	自然環境や生態系に配慮した水路として整備した延長	4,106	4,131	4,150	/	/	/	4,300	m	
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●都市公園については、財源確保が厳しい状況であり、整備が遅れている。 【公園緑地課】 ●多自然型河川の整備延長については、一部工法について地元協議に時間を要し、年次計画の目標に達しなかった。【河川課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●財源確保に努め、都市公園整備の進捗を図る。【公園緑地課】 ●多自然型河川は、景観に趣きをおくと維持管理の面で難点があるため、工法について、あらゆる情報から選定し地元の理解を得ながら進めることで、目標値の達成を目指す。【河川課】 				
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

重点施策								主担当		総務部	
基本施策 311 防災対策の推進								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								2,541,340 (千円)		4,743,804 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)		自助・互助・公助の理念のもと、市民・地域・事業者・関係機関・行政が一体となった防災対策を推進することにより被害の軽減を図り、各種災害から市民の生命・財産を守る災害に強いまちを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			単位
自主防災訓練の実施率	自主防災組織が行う防災訓練の年間実施率	85	90	91.6				100	%		
自主防災会における地域防災マップ作成率	長野市内546自主防災組織のうち、地域の防災マップを自主的に作成した自主防災組織の割合	16.3	24.5	44.5				73.0	%		
市有施設の耐震化率	耐震改修促進計画に定められた災害拠点施設等の耐震化率 耐震性があると判断されるもの÷総棟数	75	80	84				90	%		
雨水事業整備面積	公共下水道全体計画区域内(飯綱処理区を除く)で雨水渠事業等により整備された雨水排水区域の面積	3,026	3,095	3,130				3,251	ha		
基本施策の推進に関する説明											
		指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災訓練の実施率は、前年に比べ、若干ではあるが上昇している。【警防課】 ●自主防災会における地域防災マップ作成率は、平成23年度末から各支所・住自協・自主防災組織等に向け消防と連携してマップ作成の重要性について説明し、各地区で着手できるところから順次作成した結果、約半数の組織で作成された。【危機管理防災課】 ●市有施設の耐震化率は、耐震改修等により順調に伸びている。【建築指導課】 ●雨水事業整備面積は、順調に推移している。【河川課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災訓練の実施率は、今後も、啓発活動や自主防災組織の活動支援を継続して実施し、目標達成を目指す。【警防課】 ●地域防災マップ作成について、すでに着手している地区も多数あるが、引き続き未作成の地区に啓発を行い、予定時期での目標達成を目指す。【危機管理防災課】 ●耐震化を図っていない建築物の所有課に対し、耐震改修等の整備計画を求めるなどにより促進を図る。【建築指導課】 ●雨水事業整備面積は予算と人員の増加を高め、整備面積の増加を目指す。【河川課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 312		消防・救急・救助体制の充実						主担当		消防局	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
				1,365,576 (千円)		1,655,483 (千円)					
方針 (基本施策の目指すもの)		消防・救急・救助体制の充実により、複雑・多様化する火災や事故などの災害に迅速かつ的確に対応し、市民の生命・財産を守ります。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	基本施策指標に係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
出火率	市内の人口1万人当たりの年間出火件数	3.4	3.6	2.9	/	/	/	3.0		件	
市民による初期消火率	全火災件数に対する初期消火が実施された火災件数の割合	68.8	66.0	72.0	/	/	/	70.0		%	
救急現場に居合わせた人の救命処置実施率	救急現場に居合わせた人が救命処置を行った率	51.2	50.6	51.5	/	/	/	54.8		%	
救急現場到着時間	救急車が出動してから救急現場に到着するまでの平均時間	6分30秒	6分40秒	6分12秒	/	/	/	6分00秒			
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●出火率は、枯草火災や放火火災の分析に基づき、重点的な火災予防広報をすることにより、火災件数の軽減に努めることができたため、減少した。【予防課】 ●市民による初期消火率は、防災訓練などあらゆる機会を通し、講話や消火訓練などを実施した結果、向上が図られた。【予防課】 ●救命処置実施率は、昨年を上回っているが、救急講習等の受講者数は、減少傾向にあるため、受講しやすい環境を作ることが必要である。【警防課】 ●救急現場到着時間は、救急出動件数の微増により平均到着時間が短縮されたものと推測される(H23:1,103件増、H24:77件増)。【警防課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●市民、地域、消防団と連携し、あらゆる場面で火災予防の啓発活動を行い、市民の防災意識の高揚を図っていく。【予防課】 ●救急講習及び応急手当普及養成講習の開催回数を増やすことで受講しやすい環境を作り、職場における応急手当実施率の向上を図ることで、救命処置実施率向上に繋げていく。【警防課】 ●救急件数の増減による平均到着時間の調査検証を実施し、今後、件数の増加が見込まれている中でとるべき対策を考え、目標達成を目指す。【警防課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 321 日常生活の安全性の向上		主担当		地域振興部					
		H24 当初予算額		H25 当初予算額					
		1,283,328 (千円)		1,657,124 (千円)					
方針 (基本施策の目指すもの)	市民・地域・関係機関との連携により、交通事故・犯罪の危険防止や消費生活の安全を確保するための環境づくりを推進し、より安心して共に暮らせる安全な社会を目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
交通安全教育講習会の年間受講者数	市の講師派遣により、交通安全教育講習を受講した市民の数	8,678	9,737	11,122	/	/	/	10,000	人
交通事故による年間死亡者	市内の年間交通事故死者数	19	11	14	/	/	/	10	人
地域において実施している防犯活動件数	防犯パトロールなど、地域で自主的に防犯活動を実施している数	690	810	956	/	/	/	736	回
消費生活に関する年間相談件数に占めるトラブルに関わる相談の割合	年間相談件数のうち、トラブルに遭った相談の割合	20.3	18.9	18.0	/	/	/	16.0	%
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教育講習会は、開催件数・受講者数とも順調に推移している。【交通政策課】 ●交通事故による年間死亡者数は、昨年より増加した。【交通政策課】 ●地域において実施している防犯活動件数は、目標に達した。【市民活動支援課】 ●ラジオCM等による消費生活センターの周知や、市民の消費者力向上により、トラブルや被害に遭う前に情報、対応を求める相談の割合が増えているため、トラブルに遭った相談割合が減少している。【市民課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全教育講習会開催について、各地区からの要望が多いため、今後も適正な講師人数を確保し、受講者数の更なる増加を目指す。【交通政策課】 ●関係機関・団体等との連携により、交通安全教育や啓発活動、交通安全イベント等を積極的に開催することで、交通事故年間死亡者数減少の目標達成を目指す。【交通政策課】 ●目標に達した地域において実施している防犯活動件数は、現状の取組を継続しながら、更なる増加を目指す。【市民活動支援課】 ●市民が気軽に利用できるよう消費生活センター相談窓口を幅広く周知し、消費者被害の未然防止を図る。【市民課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

重点施策								主 担 当		教 育 委 員 会 事 務 局	
基本施策 411		魅力ある教育の推進						H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								11,878,508 (千円)		13,763,120 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)		子どもの個性を尊重し、発達段階に応じた魅力ある教育を推進することで、意欲をもって自主的に行動し、豊かな人間性を兼ね備えたたくましい人材の育成を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
幼稚園や保育所への就園率	3から5歳の幼児のうち、幼稚園・保育所へ在園・在所している幼児の割合(毎年4月1日現在住民基本台帳)	96.4	96.9	96.1					97.0	%	就園率=(3から5歳児の幼稚園・保育所入所者数/3から5歳児数)
児童・生徒の授業理解度	長野市児童・生徒の生活・学習意識実態調査の「学習内容の理解度」の項目において、「ほとんどの授業がよくわかる」「わかる授業の方が多い」と回答した児童・生徒の割合	小6 91 中2 83	小6 90 中2 84	小6 92 中2 83					小6 91 中2 83	%	
学級生活に満足している小・中学校児童・生徒の割合	Q-U(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の「いごちのよいクラスにするためのアンケート」において、「学級生活満足群」に属する児童・生徒の割合	57.0	60.7	60.5					63.0	%	
卒業時において、自分の進路に満足している市立高等学校生徒の割合	総合学科・授業アンケートにおいて、「自分の進路に満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した生徒の割合	85.0	95.0	93.0					85.0	%	
小中学校校舎等の耐震化率	市内小中学校の校舎・屋内運動場の全棟数のうち、耐震性が確認された棟数の割合(年度末現在)	79.0	82.2	88.1					97.0	%	学校施設の耐震化計画による耐震性が確認された棟数/全棟数
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況	指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針									
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●就園率について、保育所保育料は保護者の所得額に適切に対応した市の保育料階層区分を設定し、幼稚園保育料は就園奨励費補助金の年2回の支払いにより、保護者の経済的負担を軽減する取組を実施した。 【保育家庭支援課】 ●長野市の児童・生徒の授業理解度は、この数年安定しており、24年度は、目標に達した。【学校教育課】 ●長野市の「学級生活満足群」の割合は、全国平均(小38%・中35%)に比べ、高い値で推移している。特に、小学校では、H22以降、54.4%・56.8%・58.4%と向上が見られる。【学校教育課】 ●卒業時において、自分の進路に満足している市立長野高等学校生徒の割合は、目標に達した。【学校教育課】 ●小中学校校舎等の耐震化率は、耐震化計画に沿った取組の実施により順調に推移している。【教委・総務課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、保育料について保護者の経済的負担を軽減していくとともに、子どもの生涯にわたる人間形成に必要な集団生活の重要性について、未就園児の保護者に周知を図り就園率の増加を図る。【保育家庭支援課】 ●今後とも、児童・生徒にとって「わかりやすい授業づくり」を心がけ、更なる授業改善のために研修や研究を充実させていく。【学校教育課】 ●Q-Uを活用した学級作り、人間関係づくりの研修会を設け、望ましい学級運営を提案していく。【学校教育課】 ●目標に達した、卒業時において、自分の進路に満足している市立長野高等学校生徒の割合は、現状の取組みを継続しながら、更なる増加を目指す。【学校教育課】 ●順調に推移している小中学校校舎等の耐震化率は、引き続き耐震化計画に沿った取組を実施する。【教委・総務課】 									
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 412		家庭・学校・地域の連携による教育力の向上					主担当		教育委員会事務局	
							H24 当初予算額		H25 当初予算額	
				90,646 (千円)		88,121 (千円)				
方針 (基本施策の目指すもの)		基本的な生活習慣や豊かな情操を培う場である家庭の教育力を向上するとともに、家庭・学校・地域がそれぞれの責任を果たしながら連携交流し、社会全体で子どもたちを守り育てるまちを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位	
家庭教育支援事業への年間参加者数	市立公民館での子育て講座・学校PTA主催の家庭教育力向上講座への年間の参加者総数(年度末計)	17,661	19,952	16,703	/	/	/	20,000	人	
基本施策の推進に関する説明										
		指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	●学校PTA組織による家庭教育力向上研修会の開催が例年に比べて少なかった。4月策定、長野市教育振興基本計画の「家庭の教育力向上」を目指して、市立公民館、一部保健センターでの家庭教育力向上ミニ講座を試行した。【生涯学習課】				●「家庭の教育力向上」を目指して、学校PTA組織による家庭教育力向上研修会の開催を促す。 また、本格的実施の市立公民館、保健センターでのミニ講座を計画的に実施し、家庭の教育力向上を図る。【生涯学習課】					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

基本施策 421	活力ある地域を創る生涯学習の推進							主担当		教育委員会事務局	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								1,031,772 (千円)		1,006,668 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	だれもが生涯にわたりいつでもどこでも自由に学び、互いに高めあうとともに、学びの成果が活力ある地域づくりにつながる生涯学習のまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
生涯学習センターの年間利用者数	生涯学習センターの年間利用者数(年度末計)	174,886	153,936	185,582				180,000	人		
市立公民館の年間利用者数	市立公民館の事業参加者と貸し館の利用者数	1,045,705	1,074,880	999,470				1,086,000	人		
市民一人当たりの市立(長野・南部)図書館貸出冊数	総貸出冊数/住民基本台帳人口(年度末現在)	4.5	4.5	4.3				4.7	冊		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習センターの利用者数は、学習活動・成果発表の場の提供や、地域人材育成講座、経済セミナー等を開催したことにより、大幅に増加し、目標に達した。【生涯学習課】 ●市立公民館の年間利用者数は、川中島町公民館の改築等により減少した。【生涯学習課】 ●図書館の貸出冊数については、貸出利用者数の減少に伴い、市民一人当たりの図書館貸出冊数も減少した。【長野図書館、南部図書館】 					<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き市民が自ら学べる環境づくりのため、多様なニーズに応じた学習機会や場を提供し市民の学習活動を支援し、学びの成果を社会や地域の中に生かすことにより、活力ある地域づくりを目指していく。【生涯学習課】 ●図書館については、現在の運営体制の範囲では、ほぼ限界に達してきているため、市内数箇所の公民館をサービスポイントとして整備し、本館の本の貸出、返却、予約ができるよう、新たな図書館全域サービス事業を検討していく。【長野図書館、南部図書館】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

重点施策								主担当		教育委員会事務局	
基本施策 431		多彩な文化の創造と文化遺産の継承						H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								963,044 (千円)		787,094 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)		貴重な文化遺産や伝統芸能を継承するとともに、新たな文化芸術を創造し、国内外に発信することで、地域への誇りと愛着を育む文化力ふれるまちを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
市民会館等市有の文化・芸術施設利用者数	市立の文化芸術施設のうち、有料貸館業務を主としている長野市民会館、篠ノ井市民会館、松代文化ホール、東部文化ホール、公民館ホール、若里市民文化ホール、ぶら座BOX、市民ギャラリーの8施設利用者数(年度末計)	378,623	255,248	298,674	/	/	/	520,000	人		
市有博物館及び文化財施設の来場者数	長野市立博物館、真田宝物館など18施設の来場者数(年度末計)	646,238	588,042	560,251	/	/	/	650,000	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況							指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針			
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市民会館等市有の文化・芸術施設利用者数は、1施設を除き昨年より増加している。【文化芸術推進課】 ●市有博物館及び文化財施設の来場者数は、松代イヤーまたはNHK大河ドラマ等に影響を受けたと思われる来場者が一段落したため、旧前島家住宅を除く17施設において、来場者数が減少した。【文化財課】 						<ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)長野市民文化芸術会館の開館イベント等により、市民が文化芸術に触れる機会を増加することにより、文化芸術に親しみを持つ市民を増やし、施設利用者数の目標達成を目指す。【文化芸術推進課】 ●文化財であるため活用には規制も厳しく、保護は活用と相反する面もあるが、インターネット等により広くPRするとともにリピーター及びサポーターとなる来場者を増やすよう、保護の規制の中で可能な活用方法を柔軟に検討する。【文化財課】 				
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

重点施策		基本施策 441 スポーツを軸としたまちづくりの推進						主担当 教育委員会事務局		
		H24 当初予算額 1,968,397 (千円)				H25 当初予算額 3,748,506 (千円)				
方針 (基本施策の目指すもの)	だれもが生涯を通してスポーツを楽しみ互いに交流し、健康な心と身体を培い、活力に満ちた明るく豊かな生活を送ることができるまちを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位		
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合	20歳以上のまちづくり市民アンケート調査による	52.8	51.8	53.8	/	/	/	69.6	%	
障害者スポーツ大会・講習会への年間参加者数	市が主催する障害者スポーツ大会や講習会への年間参加者数(年度末計)	459	317	630	/	/	/	540	人	H24年度から、出前講習会の開催数を増やした。
市民一人当たりの市有スポーツ施設利用回数	市民一人が1年間にスポーツ施設を利用する回数(年度末計) 市有施設の年間利用者数(学校開放利用者+社会体育施設利用者数)÷住民基本台帳人口	8.1	7.7	8.8	/	/	/	10.5	回	
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合は逡増したが、高めに設定してある目標値には大きく及ばない状況である。これは散歩などの軽度な運動を「スポーツ活動」と捉えていない人が多いため、伸び悩んでいるものとする。【体育課】 ●障害者スポーツ大会・講習会への年間参加者数は、従来のスポーツ大会及びスポーツ講習会の開催に加え、各施設等を訪問する出前講習会の開催数を増やすことにより、目標を達成することができた。【障害福祉課】 <ul style="list-style-type: none"> ・第43回長野市障害者スポーツ大会(参加者157人) ・第12回長野市障害者ゲートボール大会(参加者30人) ・各種スポーツ講習会(水泳、卓球他 17回実施 参加者138人) ・出前講習会(レクリエーションスポーツ他 14回実施 参加者305人) ●市民一人当たりの市有スポーツ施設利用回数は、体育館等、運動場共に前年度より大きく増加した。これは、ロンドンオリンピックの影響でスポーツに興味を持った人が多かったためと考える。【体育課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合は、アンケートの質問方法の変更など、軽度な運動も「スポーツ活動」に含まれることを周知する。【体育課】 ●目標に達した障害者スポーツ大会・講習会への年間参加者数は、引き続き、長野市障害者スポーツ協会を支援することにより、障害者がスポーツに触れる機会を増やしていくことで、現状維持を目指す。【障害福祉課】 ●市民一人当たりの市有スポーツ施設利用回数は、スポーツ施設のPR、ニュースポーツの普及、スポーツ教室やイベントの開催等により、身近にスポーツを親しむことのできる環境整備に努め、目標値の達成を目指す。【体育課】 					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

基本施策 451	国際化の推進							主担当		企画政策部	
								H24 当初予算額 43,951 (千円)		H25 当初予算額 38,815 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	国際交流を通じて市民の国際感覚を高めるとともに、互いの異なる文化を尊重し合い共生できる国際都市NAGANOを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			
市民団体が主催する国際交流推進事業数	市が支援する国際交流イベント、留学生との交流などの国際交流推進事案件数(年度末計)	5	4	12	/	/	/	10	件		
国際交流コーナーの年間利用者数	国際交流コーナーの年間利用者数(年度末計)	12,412	11,653	12,179	/	/	/	14,200	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市民団体が主催する国際交流推進事業数は、従来に比べて大幅に拡大し、目標値を上回ることができた。【秘書課】 ●国際交流コーナーの年間利用者数は、順調に伸びている。【秘書課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●国際交流推進事業については、本市の「国際交流推進事業補助金」の活用を市民に十分に周知することにより、事業の数がさらに拡大するよう努めていく。【秘書課】 ●順調に推移している国際交流コーナーの利用者数については、コーナーの独自企画の内容をさらに充実させるとともに、ホームページ等による情報発信力を強化することにより、利用者の更なる拡大を目指す。【秘書課】 					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

重点施策		基本施策 511 多様な観光交流の推進						主担当 商工観光部		
		H24 当初予算額 2,027,156 (千円)				H25 当初予算額 1,976,036 (千円)				
方針 (基本施策の目指すもの)	歴史・文化や美しい自然などの観光資源と、オリンピック開催で得た資産をいかして観光交流を推進し、賑わいと活力ある観光・コンベンション都市“ながの”を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位	
市内の年間観光地利用者数	市内の主な観光地への入り込み数の合計	1,005	1,003	1,007	/	/	/	1,200	万人	観光地点の見直し(13地点→11地点)を図り、平成24年から算出方法を変更した。(合併地域を含む)
観光ホームページへの年間アクセス数	(公財)ながの観光コンベンションビューローのホームページ(ながの観光Net)へのアクセス数	71	63	62	/	/	/	90	万件	
誘致・支援するコンベンションの年間参加者数	(公財)ながの観光コンベンションビューローが誘致または支援するコンベンションの参加者数	95,281	89,138	108,131	/	/	/	110,000	人	
基本施策の推進に関する説明										
		指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の年間観光地利用者数及び誘致・支援するコンベンションの年間参加者数は、テーマ別キャンペーンの展開、大型コンベンションの積極的誘致に努めた結果、昨年を上回ることができた。【観光振興課】 ●観光ホームページへの年間アクセス数は、情報発信の主体が多様化し、利用者の目的によりアクセス先が分散している状況にあるため、減少した。【観光振興課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●観光地利用者数については、新1,200万人観光交流推進プランに基づき、全市横断的なテーマ別キャンペーン事業を展開し、引き続き集客力の向上とリピーターの増加を目指す。【観光振興課】 ●従来の印刷物・インターネット等の活用に加え、スマートフォンや「ツイッター」、「フェイスブック」等の新たな媒体を活用した情報発信に努める。【観光振興課】 ●大規模コンベンションの継続的な誘致活動の推進と、継続的に開催される中小規模のコンベンションを中心に積極的な誘致・支援するなどして目標達成を目指す。【観光振興課】 					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

重点施策								主 担 当		農 林 部	
基本施策 521		未来に向けた農業の再生・振興						H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								1,313,656 (千円)		1,317,156 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)		農業の重要性を食料生産や土地利用の面から評価し、経営の強化や生産性・付加価値の向上などを通じて地域農業の再生・振興を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
認定農業者数	意欲的な農業者として市が基準に沿って認定する認定農業者(個人・法人)の毎年度末の認定数	263	236	243	/	/	/	300	人		
新規就農者数(累計)	長野市就農促進奨励金・長野市新規就農者支援事業助成金・青年就農者給付金の交付を受けた新規就農者数	89	134	160	/	/	/	270	人	H23に長野市新規就農者支援事業、H24に青年就農者給付金事業を開始したことにより、指標の定義及びH23実績値を修正	
奨励果樹の栽培面積	市が奨励する果樹(りんご三兄弟、ナガノパープルなど)の栽培面積の合計	212	217	225	/	/	/	242	ha		
基本施策の推進に関する説明											
		指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●認定農業者は農業就業人口の減少や高齢化により、減少傾向である。 【農業政策課】 ●新規就農者数は平成23年度に市単独事業である新規就農者支援事業を施行したことにより大幅に増加した。【農業政策課】 ●奨励果樹は園地整備補助金を活用した栽培面積の増が鈍い。 【農業政策課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●新規就農者を増やし、認定期間満了者の再認定を促していく。【農業政策課】 ●平成24年度から国の青年就農給付金も施行となったため市及び国の支援体制の周知を進めるとともに、東京、大阪、名古屋で新規就農者の相談会を開催し、新規就農者の確保を図る。【農業政策課】 ●奨励果樹栽培面積は、平成25年度から園地整備補助金の要件を緩和し、より園地整備に取組みやすくすることにより面積拡大を目指す。【農業政策課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 522	中山間地域の農業振興							主 担 当		農 林 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								176,724 (千円)		169,941 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)	活力ある中山間地域づくりに向けて、地域の特性をいかした農業の振興を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に 係る特記事項		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			単位
中山間地域で遊休荒廃農地から農地に復元した面積(累計)	遊休農地を活かそう支援事業・中山間地域優良農地復元事業で遊休農地から復元した面積の合計	44.0	47.7	56.2	/	/	/	74.0	ha		
振興作物導入面積(累計)	中山間地域に適した振興作物(山菜、ブルーベリーなど)を導入した面積	14.0	13.6	13.6	/	/	/	17.0	ha		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●中山間地域で遊休荒廃農地から農地に復元した面積は、着実に増えている。【農業政策課】 ●振興作物導入面積は、申請者がいなかったこともあり前年と変わらなかった。【農業政策課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●今後も、各地区の遊休農地活性化委員会と連携して優良農地面積を増やしていく。【農業政策課】 ●各地区の遊休農地活性化委員会に情報提供し、振興作物導入新規申請者の発掘を目指す。【農業政策課】 					
平成25年度	/					/					
平成26年度	/					/					
平成27年度	/					/					
平成28年度	/					/					

基本施策 523	豊かな森林づくりと林業の振興						主担当		農 林 部	
							H24 当初予算額 273,151 (千円)		H25 当初予算額 233,013 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)	環境や防災の面で多様な機能を有する広大な森林を守り育てることにより、森林資源の持続的な保全と活用を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位	
間伐を実施した森林面積 (搬出分)	間伐を実施した市内民有林の面積(搬出分)	130	114	120				250	ha	
木材生産量	市内で生産された木材の生産量	10,851	7,717	7,975				17,000	m ³	
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●間伐森林面積は、H23年度から国の施策として切捨て間伐から搬出間伐を推進しているが、横ばいの状態である。【森林整備課】 ●木材生産量は、木材価格の低迷や需要の状況等により、伸びが鈍化している。【森林整備課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●搬出間伐を促進させるため、作業等の効率化を推進に資する路網整備を進めるとともに、高性能林業機械の導入及び搬出システム構築等への支援を行う。【森林整備課】 ●木材生産量を増加させるため、地域材の活用研究を推進するとともにPR等を行うなどして木材の普及を図る。【森林整備課】 					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

重点施策								主担当		商工観光部	
基本施策 531		産業の集積と工業の活性化						H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								2,879,927 (千円)		2,478,099 (千円)	
方針 (基本施策の目指すもの)		ものづくり産業の基盤強化や先端産業の育成、企業の競争力向上などを支援し、特色ある産業の集積と工業の高付加価値化を目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
製造品出荷額等	経済センサスまたは工業統計調査による製造品出荷額等(市内の従業者4人以上の事業所対象)	4,364	集計中	集計中	/	/	/	/	4,409	億円	
大学などと共同で新技術・新製品の開発を行う件数(累計)	長野市ものづくり研究開発事業の選定を経て、大学などと共同開発を行う事業の延べ件数	14	17	19	/	/	/	/	32	件	
産業団地分譲による入居企業数(累計)	市が開発した産業団地に入居した企業の延べ数	160	166	172	/	/	/	/	180	社	
基本施策の推進に関する説明											
指標の実績状況		指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針									
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●大学などと共同で新技術・新製品の開発を行う件数は、ものづくり研究開発事業の応募件数が増加していることもあり、概ね想定のとおり推移している。【産業政策課】 ●立地条件の良い第二東部工業団地が完売したため、産業団地分譲による入居企業数は増加した。【産業政策課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●残っている産業団地の区画分譲を進める。【産業政策課】 ●コーディネートサポートチームの活用が進んでいることから、この仕組みを利用した相談等により企業活動の活性化を図る。【産業政策課】 									
平成25年度	/										
平成26年度	/										
平成27年度	/										
平成28年度	/										

基本施策 541	力強い商業への転換							主担当		商工観光部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
							8,927,845 (千円)		8,608,953 (千円)		
方針 (基本施策の目指すもの)	消費者ニーズや時代の変化に対応できるよう、店舗や商店街の魅力と競争力を高め、市民や地域から支持される力強い商業への転換を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
年間商品販売額(小売業)	経済センサスまたは商業統計調査による市内の年間商品販売額(小売業)	4,519 (H19)	—	集計中				4,520	億円		
空き店舗を活用して出店した事業者数(累計)	空き店舗等活用事業により出店した事業者数	85	92	104				115	件		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き店舗を活用して出店した事業者数は、商店街、地権者、不動産業者等と連携して「空き店舗対策会議」を開催し、地権者を含めた店主等の意識を把握することで、空き店舗解消に向けた商店街環境作り等の方策について検討を行ったこと、各商店会においても出店者に対する相談支援を行うなどの取り組みによる成果が表れたことで、順調に推移している。 【産業政策課】 				<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き「空き店舗対策会議」を開催することで、各者の意向や出店希望者の動向を集約し、リーシングを実施する。【産業政策課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 551	安定した地域雇用の確保							主担当		商工観光部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
							491,581 (千円)		331,475 (千円)		
方針 (基本施策の目指すもの)	働きたい人が適性に応じて仕事に就くことができ、いきいきと働き続け、安定した社会生活を送ることができる環境を目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
有効求人倍率	長野・篠ノ井・須坂公共職業安定所の有効求人倍率(長野には信濃町・小川村・飯綱町、篠ノ井には千曲市・坂城町、須坂には須坂市・小布施町・高山村を含む)	0.65	0.84	0.96	/	/	/	1.00	倍		
市がインターンシップ(職場体験)を受け入れた者の数	市がインターンシップ(職場体験)を受け入れた者の数	366	427	435	/	/	/	400	人		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針						
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●有効求人倍率は、後半から景気回復傾向にあったため、改善されてきている。【産業政策課】 ●インターンシップ(職場体験)希望者の増加により受け入れ人数が増加した。【産業政策課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●有効求人倍率は、本市の景気回復が製造業等各産業へ波及すれば一層改善されることが予測される。一方で、求職者と企業側は求めている人材との雇用のミスマッチによる離職者が増加することも予測されるので、離職防止に向けた職業相談や労働者の心のケアなどの支援を継続実施していく。【産業政策課】 ●インターンシップ受け入れに関しては、学校現場における職業教育、就労意識の醸成などにより、就業体験希望者が増加傾向にあるため、目標に達したが、受入環境(机・椅子、スペース等)による受入限度もあり、目標値は据え置き、現状の取り組みを継続する。【産業政策課】 						
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

重点施策								主 担 当		都 市 整 備 部	
基本施策 611		多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進						H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								4,472,710 (千円)		6,965,197 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)		身近な生活圏を中心とした拠点地域づくりと、多機能で魅力的な核となる中心市街地の再生を図るとともに、それらを公共交通ネットワークなどで結び、相互に機能分担する、暮らしやすいまちを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
土地区画整理事業施行済面積(累計)	土地区画整理事業により、公共施設及び宅地の整備が完了した地区の施行面積(累計)	784.8	784.8	793.3	/	/	/	/	858.8	ha	
市街地再開発事業実施地区面積(累計)	市街地再開発事業により、再開発された市街地の面積(累計)	5.20	5.20	5.20	/	/	/	/	6.20	ha	
中心市街地(長野銀座地区)の歩行者通行量	歩行者通行量調査のうち、長野地区中心市街地エリア内の長野銀座地点の歩行者通行量	23,555	24,977	24,542	/	/	/	/	25,440	人	
市内の地域循環バス・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数	地域循環バス(中心市街地循環バスを含む)・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数	27	27	30	/	/	/	/	28	万人	
基本施策の推進に関する説明											
		指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●古牧中部土地区画整理事業における換地処分が完了した。 【市街地整備課】 ●市街地再開発事業実施地区面積は、1地区が事業認可を受け現在事業中である。【市街地整備課】 ●中心市街地歩行者通行量は、新田町交差点以北で歩行者優先道路化事業の工事区間となった期間があったため、若干の通行量の減少が見られたものの、概ね予定どおりの推移となっている。【まちづくり推進課】 ●市内の地域循環バス・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数は、地域循環バス3路線、空白型乗合タクシー4路線及び中山間地域輸送システム1路線の本格運行開始により、増加した。また、バス共通ICカード「KURURU」を市内路線バスに導入し、利用者の利便性が向上した。【交通政策課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●土地区画整理事業に関し、瀬原田一丁田土地区画整理事業については、同土地区画整理事業組合の解散に向けて事業を進めていく。また、水沢上庭土地区画整理事業については、年次計画に沿って事業進捗を図る。【市街地整備課】 ●市街地再開発事業実施地区面積は、年次計画に沿って事業進捗を図る。【市街地整備課】 ●中心市街地歩行者通行量は、歩行者優先道路化事業、長野駅前の整備及び権堂の市街地再開発等により、まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりを推進する。【まちづくり推進課】 ●バス共通ICカード「KURURU」の2次開発により、市バスと空白型乗合タクシーへ導入を進め利用者の拡大を図る。また、空白型乗合タクシー「松代東条線」の実証運行により、利用者の新規開拓を進める。【交通政策課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 612	快適に暮らせるまちづくりの推進						主 担 当		建 設 部	
							H24 当初予算額 669,137 (千円)		H25 当初予算額 536,568 (千円)	
方 針 (基本施策の目指すもの)	ユニバーサルデザインを取り入れた公共施設などの整備や快適な住環境の整備により、暮らしやすいまちづくりを推進し、住み続けたいまちを目指します。									
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位	
歩道の段差解消箇所数 (累計)	長野市歩道段差解消要領に基づき実施する段差解消箇所数(累計)	207	277	361	/	/	/	327	か所	
建築協定及び地区計画数 (累計)	建築協定の締結数及び地区計画の作成数(累計)	26	29	30	/	/	/	33	件	
市営住宅の空家率	市営住宅空家戸数 ÷ 市営住宅管理戸数 × 100	16.7	17.8	20.1	/	/	/	14.0	%	戸数は、募集停止住戸を含む。
基本施策の推進に関する説明										
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●長野市歩道段差解消要領に基づき実施した段差解消箇所数については、目標を上回る成果を達成した。【道路課】 ●大規模宅地分譲の事前協議等において、建築協定や地区計画への誘導・指導を行っているが、近年は対象となる物件は少なくなっている。【建築指導課・都市計画課】 ●市営住宅について、募集可能な状態にするまでの修繕費用がかかる住戸が多く、退去戸数を上回る募集戸数を確保できなかった。また、募集停止住戸からの住替えが進んでいる。【住宅課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●目標値に達した段差解消については、現状の取り組みを維持しつつ、更なる箇所数の増加を目指す。【道路課】 ●中規模の宅地分譲に対しても、快適な住環境整備に向け、建築協定を積極的に指導していく。また、土地利用の規制や誘導を行うための地区計画も提案していく。【建築指導課・都市計画課】 ●ストック総合活用計画に基づき、修繕や設備器具の更新等を計画的に進め、入居率の向上を図る。また、募集を停止した住戸について、さらに住替えを行い、統廃合を進める。【住宅課】 					
平成25年度										
平成26年度										
平成27年度										
平成28年度										

基本施策 613	地域の特性をいかした景観の形成							主担当 都市整備部	
								H24 当初予算額 213,748 (千円)	H25 当初予算額 259,708 (千円)
方針 (基本施策の目指すもの)	歴史や文化に育まれた建造物等を保存しながら、恵まれた自然環境と調和する、地域の特性をいかした景観を形成し、市民が誇りと愛着を感じられるまちづくりを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位	
景観形成市民団体の認定数(累計)	景観の向上を目的として活動している景観形成市民団体の認定数(累計)	6	7	7	/	/	/	8 団体	
景観重要建造物の指定数(累計)	景観形成の上で必要な建造物である、景観重要建造物の指定数(累計)	5	7	7	/	/	/	8 件	
街なみ環境整備事業の進捗率(累計)	善光寺周辺地区・松代地区街なみ環境整備事業の進捗率(累計)	42.0	51.0	59.0	/	/	/	100 %	
基本施策の推進に関する説明									
指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●景観形成市民団体認定数は、景観形成市民団体の掘り起こしを進めているが、地元同意に時間を要している。【まちづくり推進課】 ●景観重要建造物指定数は、景観重要建造物の指定は、必要な住民活動が進んでいないため、各施策の目標値に到達することは困難な見込み。【まちづくり推進課】 ●街なみ進捗率は、想定外の現場条件の対応等に不測の日数を要し、当初予定の工期どおりに作業が進まずやむを得ず年度を繰越して工事を実施している。【まちづくり推進課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●景観形成市民団体認定数及び景観重要建造物指定数は、地域市民、企業及び行政の連携を強化し、各地域の特徴を活かした魅力ある街づくりの推進を図ることにより、目標の達成を目指す。【まちづくり推進課】 ●街なみ環境整備事業進捗率は、地区行事、道路通行規制等に配慮し、可能な限り年次計画の前倒しをして工事を行い計画期間中の目標値達成を目指す。【まちづくり推進課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

重点施策		基本施策 621 交通体系の整備						主担当 企画政策部	
		H24 当初予算額				H25 当初予算額			
		1,558,183 (千円)				1,094,690 (千円)			
方針 (基本施策の目指すもの)	市民・地域・事業者・関係団体・行政が一体となった交通体系の整備を推進し、環境負荷の軽減を考慮しながら交通の円滑化を図り、市民や観光客が快適に市内を移動できる公共交通が充実したまちを目指します。								
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 単位	
市内路線バスの年間利用者数	一般乗合バス及び市バス等の年間利用者数	717	734	算定中	/	/	/	739 万人	
市内の地域循環バス・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数	地域循環バス(中心市街地循環バスを含む)・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数	27	27	30	/	/	/	28 万人	
市内鉄道駅の年間利用者数	市内の鉄道駅(JR、長野電鉄長野線)の年間利用者数	3,895	3,885	算定中	/	/	/	4,012 万人	
基本施策の推進に関する説明									
	指標の実績状況				指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針				
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の地域循環バス・空白型乗合タクシー・中山間地域輸送システムの年間利用者数は、地域循環バス3路線、空白型乗合タクシー4路線及び中山間地域輸送システム1路線の本格運行開始により、増加した。また、バス共通ICカード「KURURU」を市内路線バスに導入し、利用者の利便性が向上した。【交通政策課】 				<ul style="list-style-type: none"> ●バス共通ICカード「KURURU」の2次開発により、市バスと空白型乗合タクシーへ導入を進め利用者の拡大を図る。また、空白型乗合タクシー「松代東条線」の実証運行により、利用者の新規開拓を進める。【交通政策課】 				
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									

基本施策 622	道路網の整備							主 担 当		建 設 部	
								H24 当初予算額		H25 当初予算額	
								5,433,530 (千円)	4,742,403 (千円)		
方 針 (基本施策の目指すもの)	都市機能を支える体系的な道路ネットワークを形成するとともに、市民に身近な生活道路の整備・改善を図り、歩行者や車が安全で円滑に移動できるまちを目指します。										
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値		基本施策指標に 係る特記事項	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位		
都市計画道路の整備率	都市計画道路整備済み延長÷都市計画道路延長×100	56.1	56.2	56.7	/	/	/	60.0	%		
生活道路(市道)の整備延長(累計)	生活道路(市道)の整備延長(累計)	1,786	1,790	1,794	/	/	/	1,810	km		
歩道・自転車歩行者道など(市道)の整備延長(累計)	歩道・自転車歩行者道など(市道)の整備延長(累計)	288	288	290	/	/	/	294	km		
基本施策の推進に関する説明											
	指標の実績状況					指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針					
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路の整備率は、東日本大震災の影響等で事業費の十分な確保ができず、当初の予定より整備が進んでいない状況ではあるが、昨年より上昇した。【都市計画課】 ●生活道路(市道)の整備延長については、ほぼ計画通りの進捗状況である。【道路課】 ●歩道・自転車歩行者道など(市道)の整備延長(累計)については、計画通りの進捗状況である。【道路課】 					<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路については、見直しの検討を進めて都市計画道路整備計画を策定し、計画的な整備に努める。【都市計画課】 ●生活道路の整備については、今後も同水準の取組を継続していくことにより、目標達成を目指す。【道路課】 ●歩道・自転車歩行者道などの整備についても、前年同様の取組を継続していくことにより、目標達成を目指す。【道路課】 					
平成25年度											
平成26年度											
平成27年度											
平成28年度											

基本施策 623	高度情報化の推進							主 担 当		総 務 部		
								H24 当初予算額		H25 当初予算額		
							116,172 (千円)		107,957 (千円)			
方 針 (基本施策の目指すもの)	日常生活の中で、だれもが情報通信技術の利便性を受けられる環境をつくり、高度情報化に適応したまちを目指します。											
基本施策指標 (成果を示すもの)	指標の定義	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値 実績値	基本施策指標に係る特記事項			
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	単位			
フルネットセンターの年間利用者数	フルネットセンターの年間利用者数 (インターネット体験コーナーの利用者数を除く)	12,524	12,695	9,047	/	/	/	16,900	人	H24から利用者集計方法を変更したため、H28目標値は、H22推定値を基準として12,500人とする。		
長野市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数	インターネットから行政及び地域情報の提供を受けた件数	194	223	206	/	/	/	228	万件			
基本施策の推進に関する説明												
	指標の実績状況	指標実績を踏まえた今後(計画期間中)の取組方針										
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ●フルネットセンターの年間利用者数は、ボランティア団体の利用減少(第2パソコン教室)等により、減少した。【情報政策課】 ※平成23年度までの実績には、営業目的や指定管理者との打合せ目的等で来館した者の人数も含まれていたため、平成24年度から「年間利用者数」という実績を明確にするため、その数値を除くことにした。 (参考)営業や指定管理者との打合せ等の来館者を除いた推定利用者数 平成22年度 約:9,324人 平成23年度 約:10,295人 ●市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数は、同程度の水準で推移している。 なお、平成24年度はホームページのリニューアルを行った。【広報広聴課】 	<ul style="list-style-type: none"> ●フルネットセンター利用者増加に向け、次の取り組みを積極的に実施することで目標達成を目指す。【情報政策課】 ・セキュリティ講座などの新しい講座の開催、地域情報発信サークルの立ち上げ、パソコン教室の回数の増加と内容の充実、PR活動の推進 ※カウント方法の変更にあわせて、目標値を修正(16,900人→12,500人) 平成22年度の営業や指定管理者との打合せ等の来館者を除いた推定利用者数である9,324人を基準として、年5%の増加を目指すものとして設定 【目標値】H24: 10,279人、H25: 10,792人、H26: 11,331人、H27: 11,897人、H28: 12,500人 ●誰にも分かりやすく利用しやすいホームページを目指し、市公式ホームページのトップページへの年間アクセス件数の実績値の向上に努める。【広報広聴課】 										
平成25年度												
平成26年度												
平成27年度												
平成28年度												